

カンキツ果実腐敗対策！まったなし！

佐賀県果樹試験場 近藤 知弥

いよいよ本格的な収穫シーズンを迎えます。これまで大切に育ててきた果実を果実腐敗から守り、買ってくれた人が「また買いたい」と思ってもらえるように、以下の取り組みを徹底し、果実腐敗「ゼロ」を目指しましょう。

- 伝染源は徹底して除去 ～園内から徹底して除去しよう～
 - ・樹上・地表面にある腐敗果（緑かび病、褐色腐敗等）は、伝染源の一つとなるので、直ちに取り除き園外で適切に処分します。



写真 褐色腐敗病の被害果

- 効果的な薬剤散布 ～丁寧にそして十分量を散布しよう～
 - ・散布時期と使用する薬剤

	散布時期	薬剤
早熟系温州 早生温州 年内出荷の高糖系温州	収穫 7～10 日前	・ トップジンM水和剤またはベンレート水和剤 +ベフラン液剤 25 ・ ベフトップジンフロアブル
施設中晩生カンキツ類	収穫 7～10 日前	・ ベンレート水和剤 +ベフラン液剤 25 ・ ベフトップジンフロアブル
年明け出荷の高糖系温州	収穫 7～21 日前	
露地中晩生カンキツ類	収穫 7～21 日前 または袋かけ直前	

- ・ 散布ノズル：ディスクノズル(新広角二頭口ノズル)を使用
- ・ 散布時の注意：① 1 個ずつ包み込むように丁寧に ② 樹幹内部にもノズルを入れる
- ・ 薬剤散布から収穫までに累積降雨量が 100mm 以上あった場合は再散布

- 果実の取り扱いには丁寧に ～果皮を傷つけないように～
 - ・ 収穫は必ず二度切り
 - ・ 収穫時の落果、ハサミ傷、枝傷がついたと思われる果実は絶対除去
 - ・ 地面に落とした果実は園外で適切に処分
 - ・ 黒点病の多い園、樹では軸腐病の発生に注意 → 収穫・貯蔵は個別に



写真 緑かび病の被害果

- 収穫は天候に注意
 - ・ 結露時、降雨時等の収穫は腐敗を助長するので、絶対にしない。